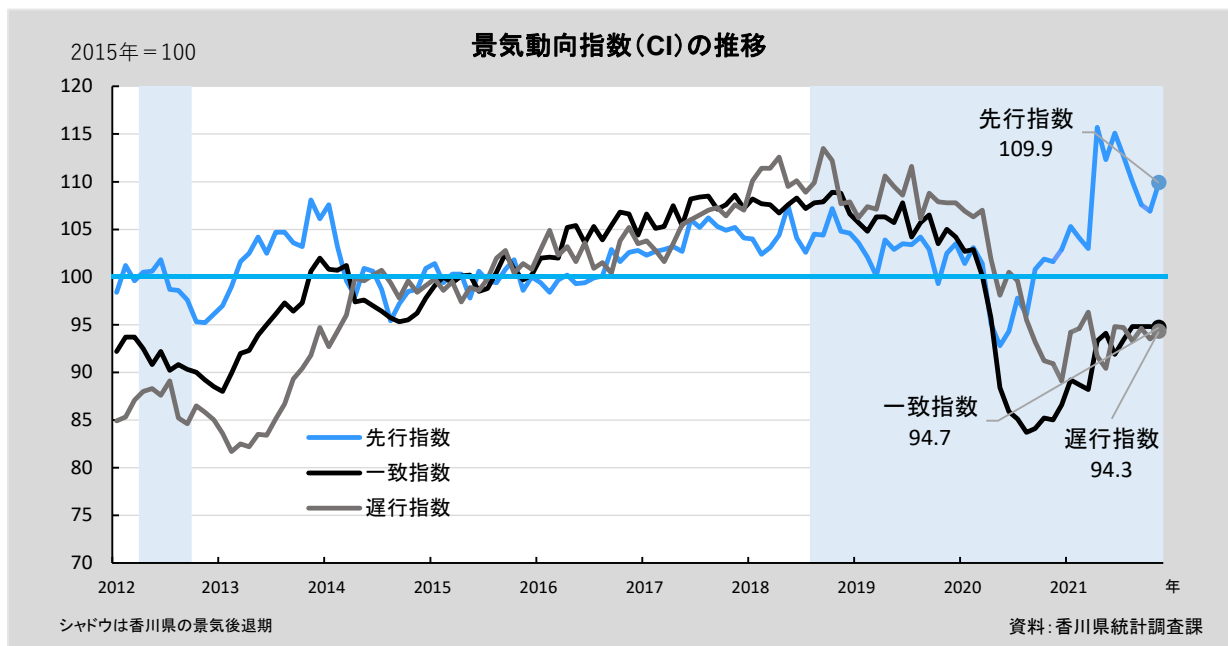


概況	景気は緩やかに持ち直しつつあるが、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響で一部に弱い動きがみられる。
個人消費	サービス消費を中心に弱い動きがみられ、持ち直しが一服している。
住宅投資	持ち直している。
公共投資	減少している。
生産活動	持ち直しの動きが一服している。
雇用情勢	持ち直しの動きがみられる。
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	弱い動きの中、持ち直しの兆しがみられる。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 5カ月ぶり下降



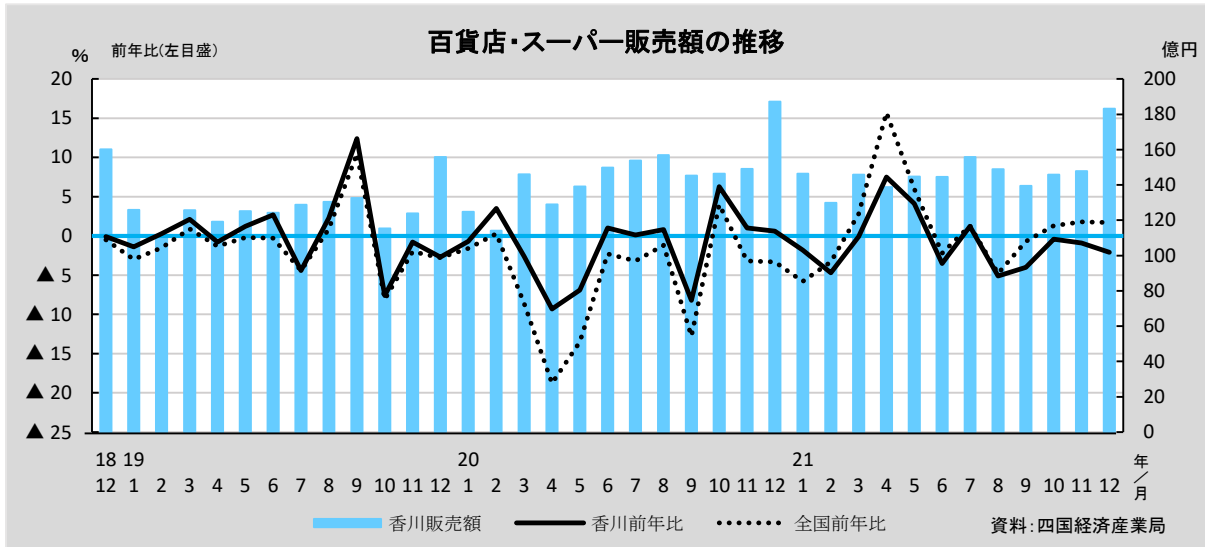
景気の現状をみると、11月のCI一致指数は94.7（前月比▲0.1ポイント）と5カ月ぶりに下降。CI先行指数は109.9（同+3.0ポイント）と5カ月ぶりに上昇。CI遅行指数は94.3（同+0.8ポイント）と2カ月ぶりに上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員、建築着工床面積、百貨店・スーパー既存店販売額等が下降に寄与したことにより、前月から0.1ポイントの下降となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	0.60	1 雇用保険受給者実人員	▲ 1.08	1 常用雇用指数	0.29
	2 乗用車新車登録台数	1.95	2 有効求人倍率	0.69	2 有効求職者数	▲ 0.62
	3 鉱工業在庫率指数	0.48	3 所定外労働時間指数	0.73	3 消費者物価指数	0.56
	4 生産財生産指数	0.31	4 鉱工業生産指数	0.36	4 家計消費支出	0.05
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.11	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.05	5 鉱工業在庫指数	0.76
	6 金融機関貸出残高	0.01	6 建築着工床面積	▲ 0.62	6 法人事業税調定額	▲ 0.45
	7 消費者態度指数	▲ 0.19	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.10	7 第3次産業活動指数	0.33

●百貨店・スーパー販売額

5 カ月連続減少 ↓



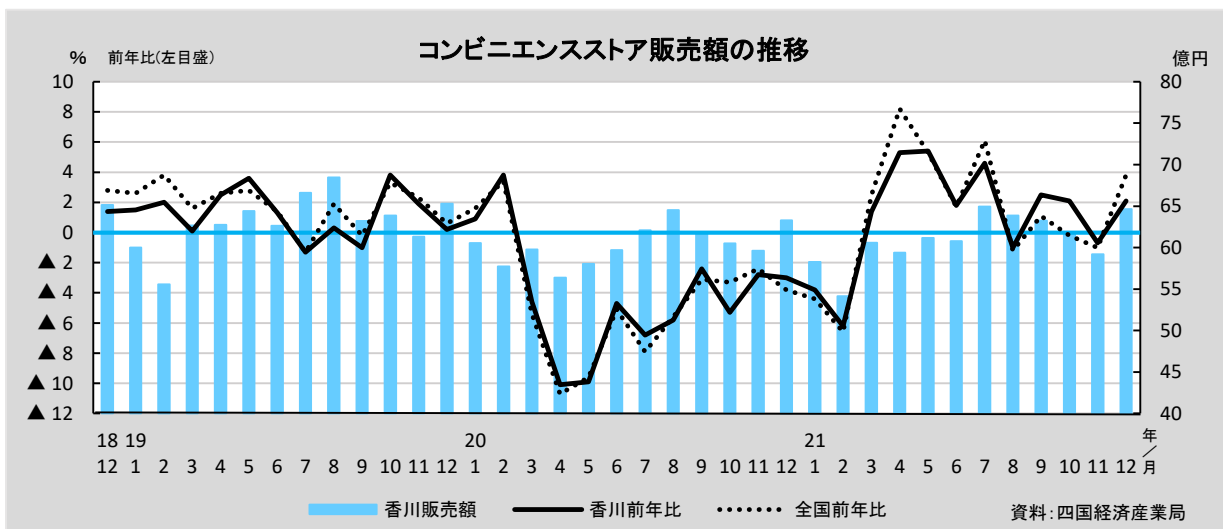
2021/12月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	130,427	71,232	1,340,240	3,109	6,498	32,828	247,062	623	1,832,019
前年同月比(%)	3.0	▲17.3	0.9	1.6	▲22.6	▲72.8	25.7	▲36.2	▲2.1

12月の百貨店・スーパー全店(84店)の販売額は、183.2億円で前年同月比▲2.1%と5カ月連続で減少した。靴・バッグなどの「身の回り品」が低調で前年同月比▲17.3%、「家庭用品」は台所用品に前年の反動減がみられ同▲72.8%と前年を下回った。

一方、「飲食料品」は引き続き内食傾向で堅調に推移し同+0.9%となった。

●コンビニエンスストア販売額

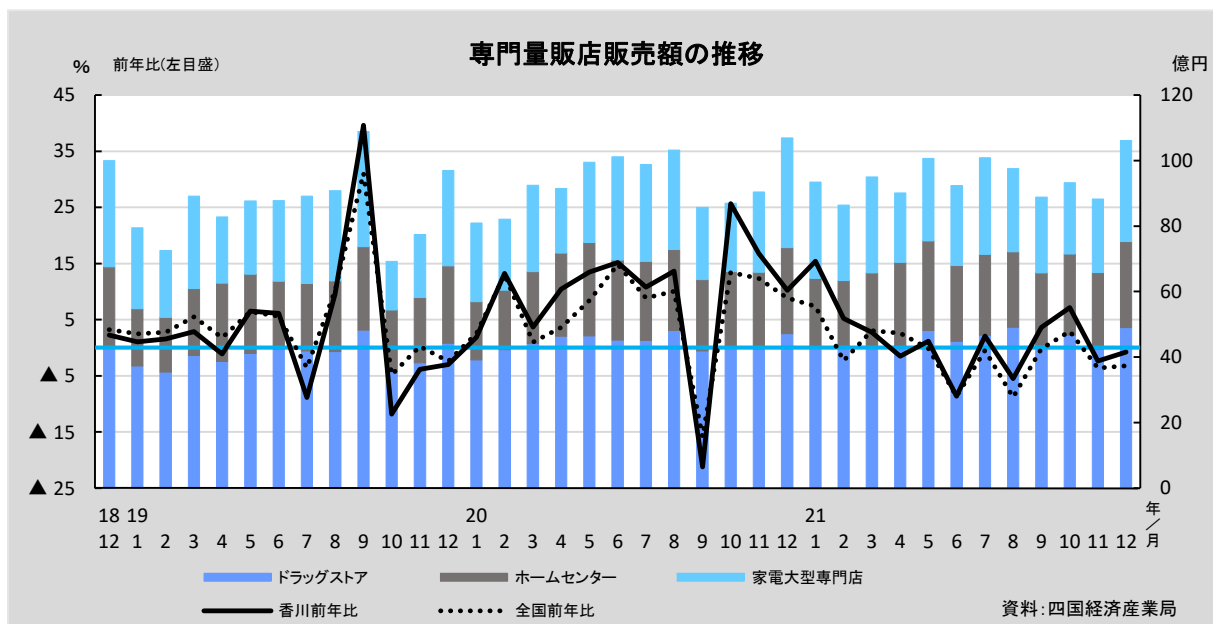
2 カ月ぶり増加 ↑



12月のコンビニエンスストア全店(409店)の販売額は64.6億円で、前年同月比+2.1%となった。カウンターコーヒー、アルコール飲料、たばこなどが好調で、2カ月ぶりの増加となった。

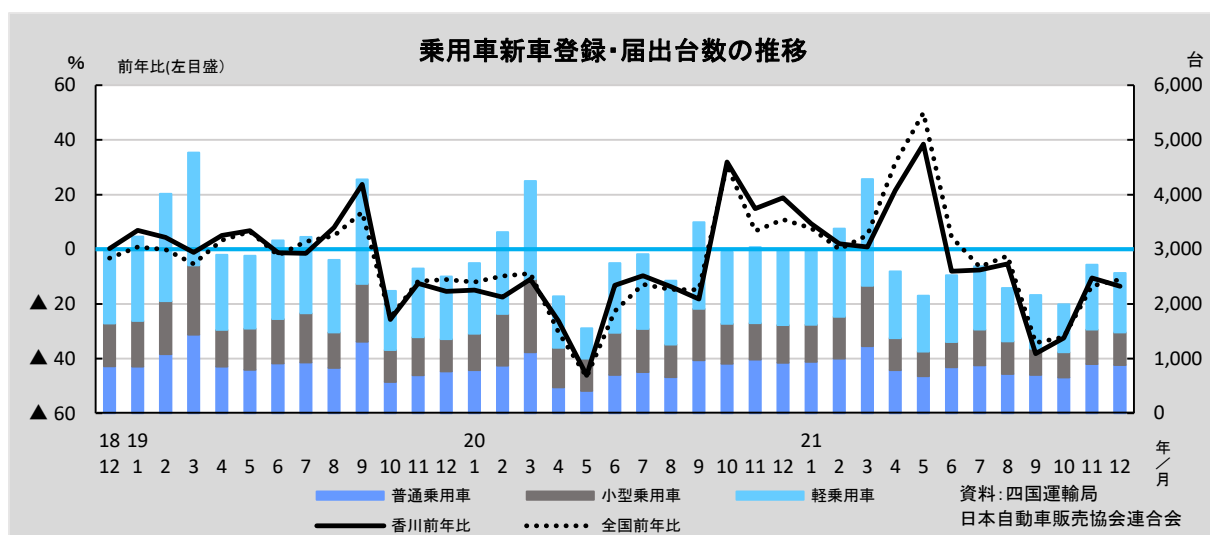
● 専門量販店販売額

2 カ月連続減少



● 乗用車新車販売台数

7 カ月連続減少

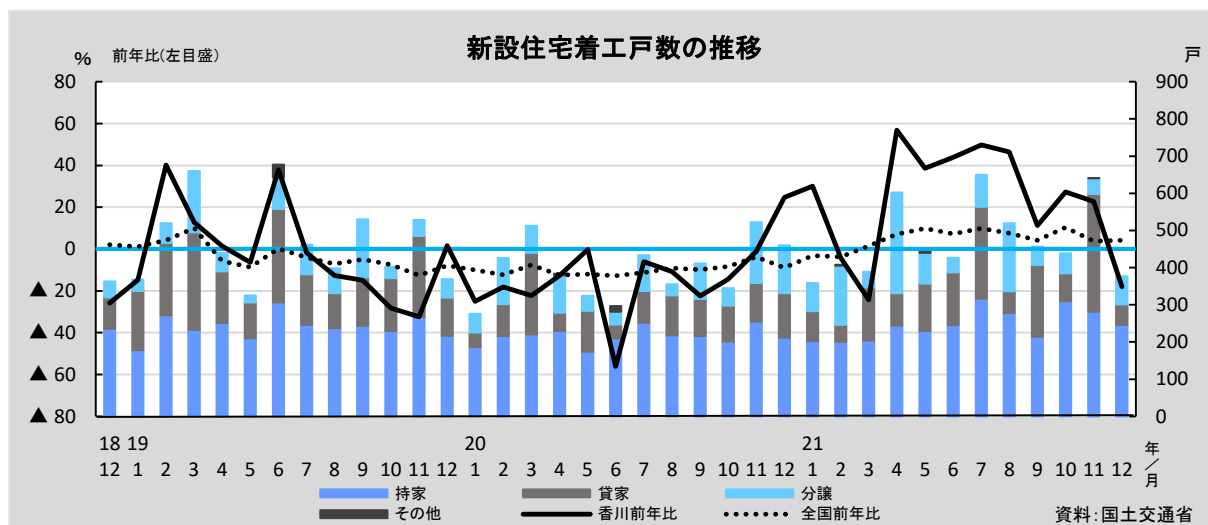


住宅投資

持ち直している

●新設住宅着工

9カ月ぶり減少 ↓



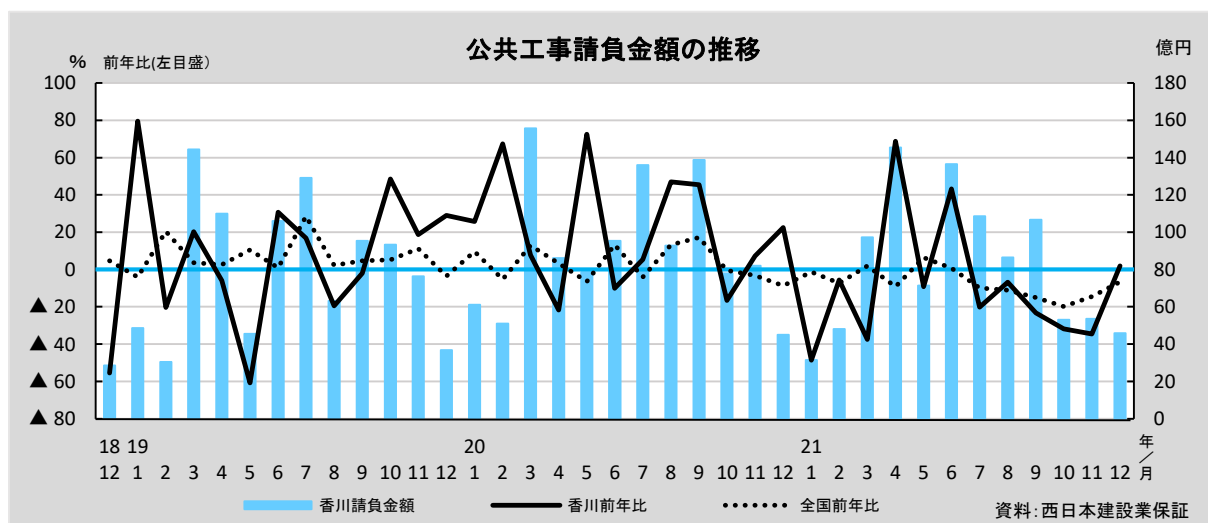
12月の新設住宅着工戸数は377戸で、前年同月比▲18.0%と、9カ月ぶりに減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+16.0%、**貸家**で同▲53.8%、**分譲住宅**で同▲41.1%となった。

公共投資

減少している

●公共工事請負金額

6カ月ぶり増加 ↑



12月の公共工事請負金額は45.9億円で、前年同月比+1.9%と6カ月ぶりに増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲78.9%、**県**で同▲3.6%、**市町**で同+18.7%となった。

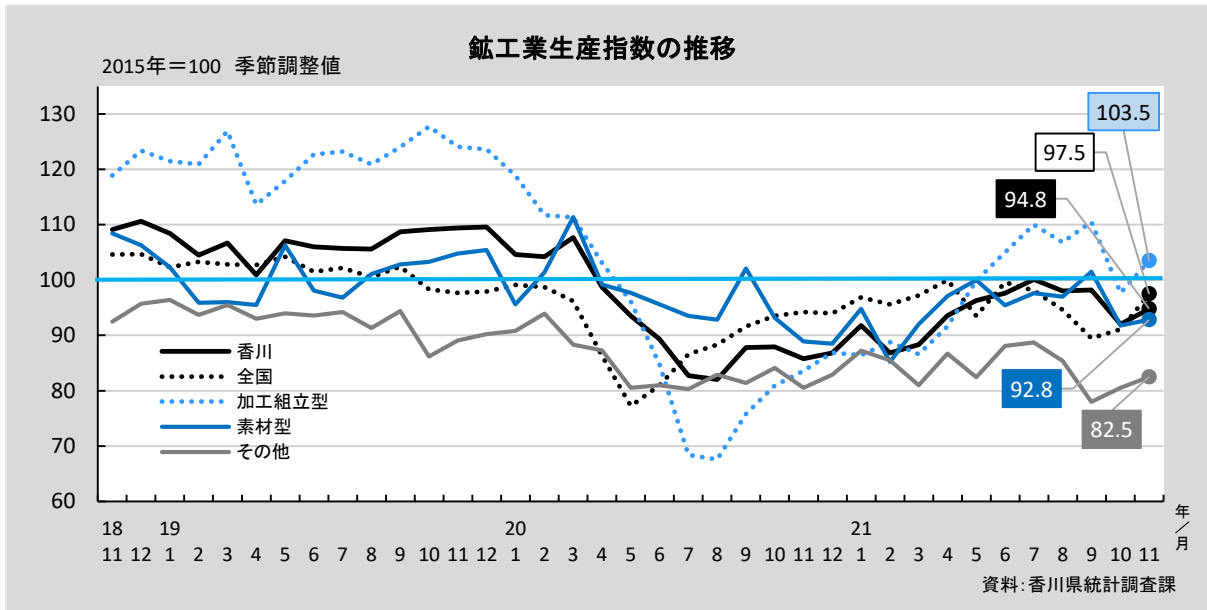
4~12月の累計では前年同期比3.0%減少している。

生産活動

持ち直しの動きが一服している

● 鉱工業生産指数

2カ月ぶり上昇 ↑



11月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は94.8（前月92.0）となり、2カ月ぶりに上昇した。

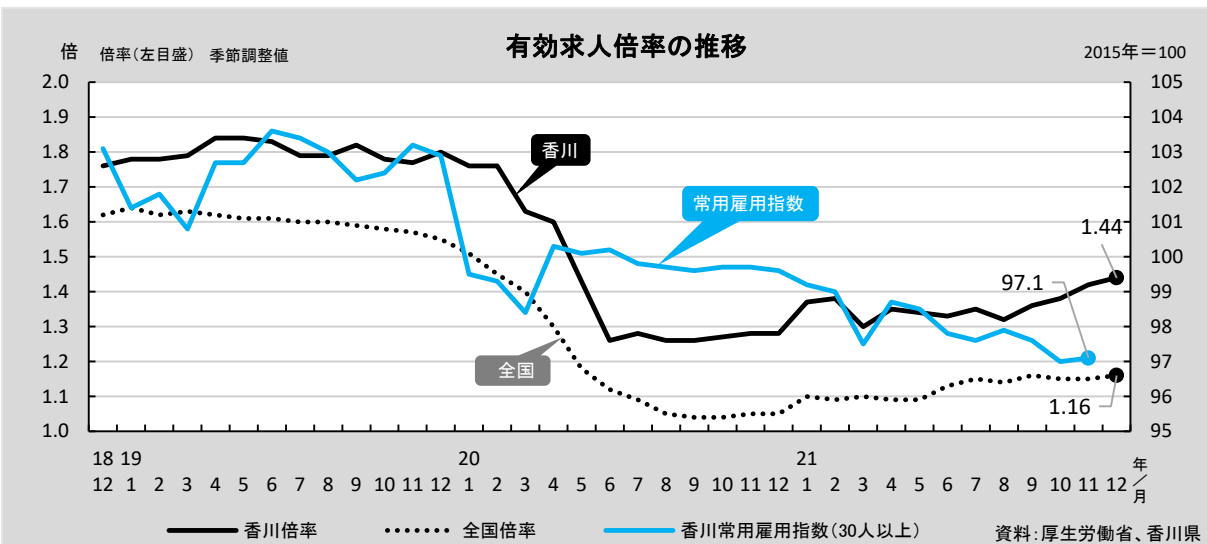
業種別では、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は前月比+19.9%、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は同+13.5%と上昇した。一方、素材型の非鉄金属工業（電気金など）は同▲10.1%と低下した。

雇用情勢

持ち直しの動きがみられる

● 有効求人倍率

4カ月連続上昇 ↑



12月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.44倍（全国4位）と前月より0.02ポイント上昇した。

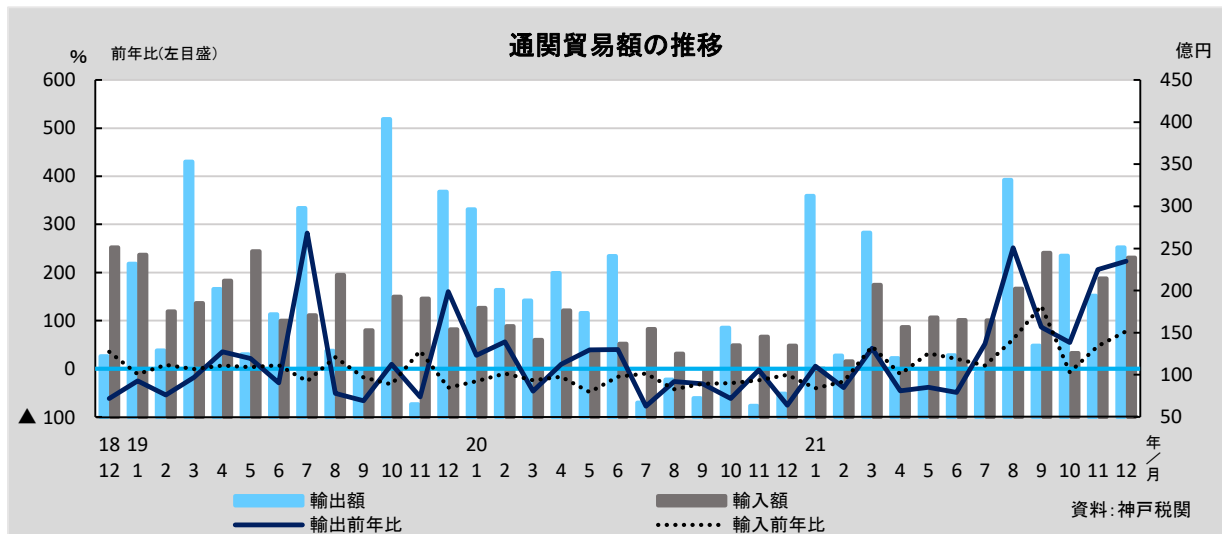
新規求人（原数値：前年同月比）は、電気・ガス・熱供給・水道業、生活関連サービス業・娯楽業、公務・その他、製造業等で増加し、全体で+17.0%と9カ月連続で増加した。

11月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、97.1となり、前年同月比は28カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.29
事務的職業	0.56
販売の職業	2.46
サービスの職業	3.38
生産工程の職業	2.59
輸送・機械運転の職業	2.37
建設・採掘の職業	6.99
運搬・清掃・包装等の職業	1.12

貿易

輸出、輸入ともに増加している



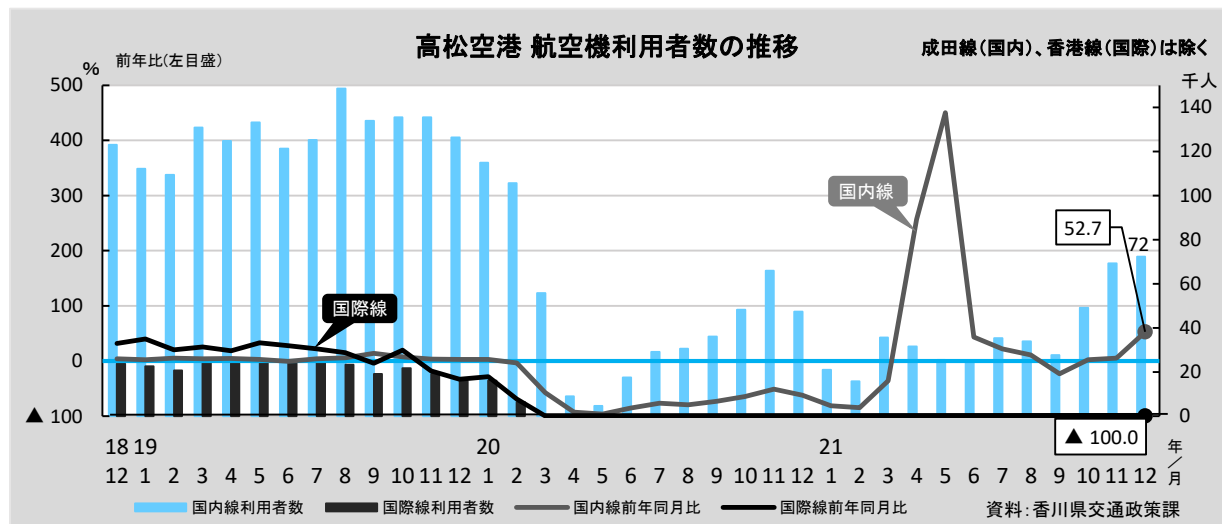
12月の輸出額は前年同月比+223.7%の251.3億円、輸入額は同+77.8%の239.0億円となり、差し引き12.3億円の出超となっている。

輸出は、貨物船輸出額が前年同月比100倍の121億円となった。輸入は、石炭輸入額が同3.4倍の100億円となった。

交通

国内線は3カ月連続増加、国際線は22カ月連続全面運休

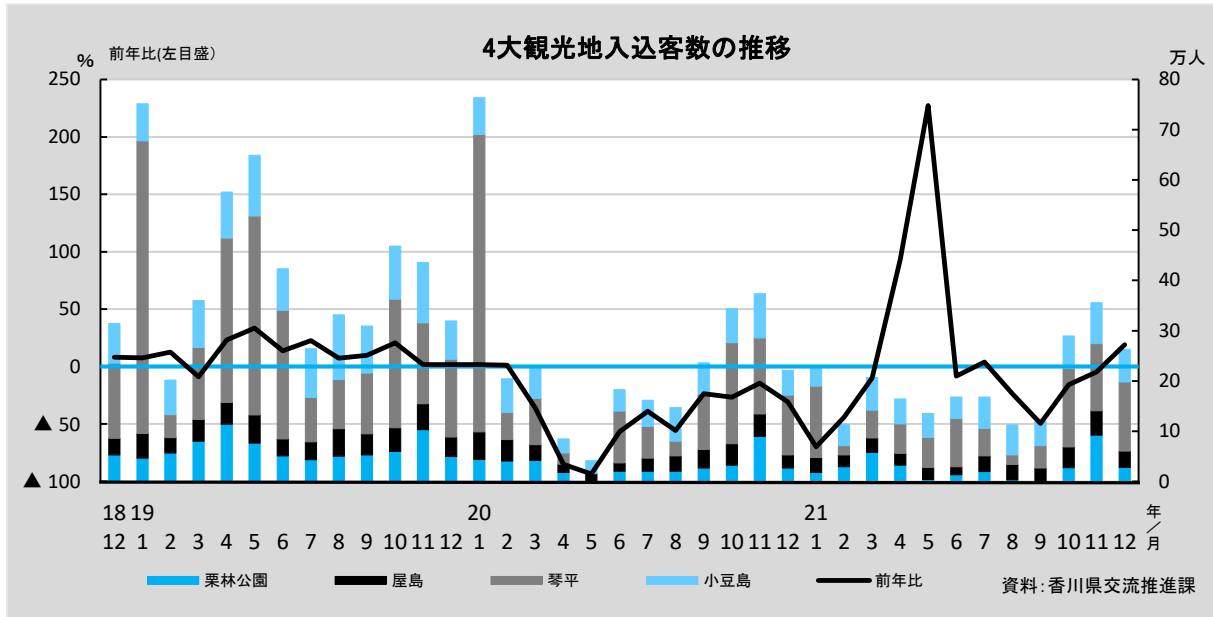
●高松空港旅客輸送実績



12月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が72,207人(前年同月比+52.7%)となり、3カ月連続で増加した。羽田線は69,688人(前年同月比+56.7%)、那覇線は2,519人(同▲10.4%)となった。コロナ禍以前の2019年同月比は▲42.8%となった。

国際線(ソウル・上海・台北線)は新型コロナウイルスの影響により22カ月連続の全面運休となった。

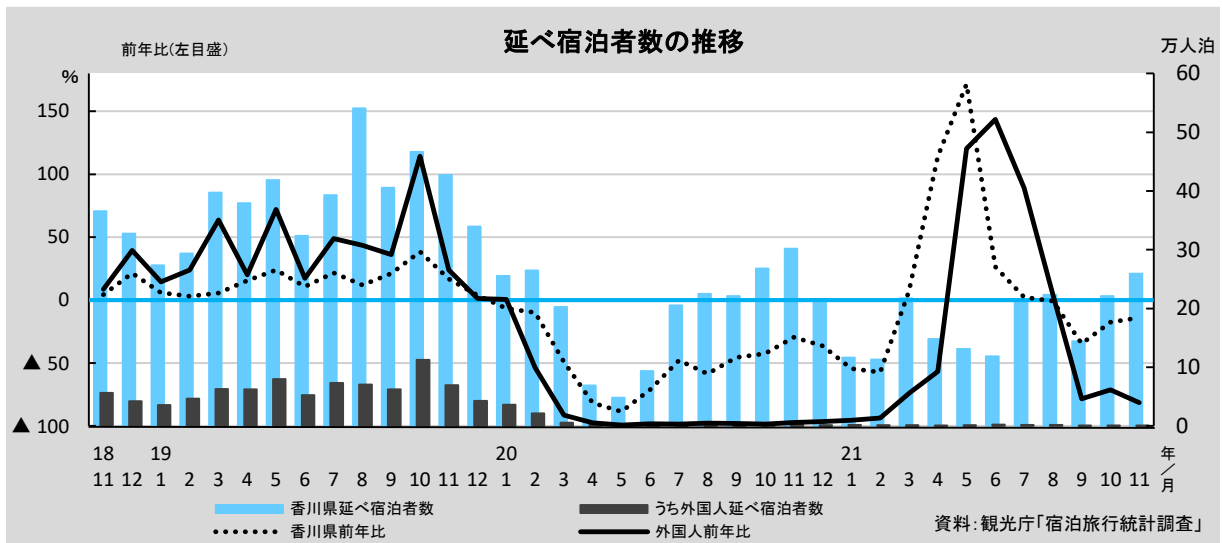
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
12月(人)	前年同月比	28,032	32,021	138,000	64,744	262,797
		6.4%	20.9%	16.0%	31.8%	18.9%
1~12月累計(人)		325,181	354,417	977,000	668,817	2,325,415
		▲14.4%	▲7.8%	▲36.5%	▲2.7%	▲22.2%

12月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+18.9%と5カ月ぶりに増加した。コロナ禍が落ち着き、4カ所全てが増加となった。
1~12月の累計では前年比▲22.2%となった。

●延べ宿泊者数



11月の延べ宿泊者数は259,250人で、前年同月比▲14.1%と4カ月連続で減少した。コロナ禍以前の2019年同月比では▲39.4%となった。
うち、外国人延べ宿泊者数は350人となり、前年同月比▲81.4%と3カ月連続で減少した。2019年同月比では▲99.5%となった。